

インターハイを支える高校生

もうすぐ行われる、インターハイ。その陰でインターハイを支えている高校生がいます。無事に成功させようと、県内では、「一人一役活動」が実施され、高校生は一人一つの役割を担い、活動を行っています。



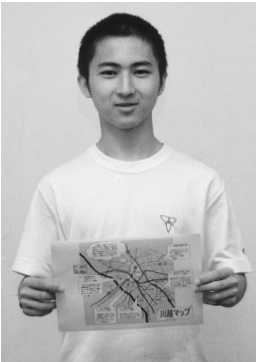
川越女子高校では、選手の皆さんの安全を願いながら「無事カエル」を約400個作りしました（6月18日）



川越総合高校では、プランターに植えるマリーゴールドの苗の移植作業を行いました（6月18日）



6月28日に行った美化活動では、約80人が集合。市立川越高校は主に川越駅。川越初雁高校・川越工業高校・川越南高校は主に本川越駅前を清掃しました



県立川越高校は、総合体育館周辺と市内の会場が記載してある2種類のマップを作りました（6月24日）

「一人一役活動」は、環境美化・広報活動・競技会場案内・歓迎活動・記録活動に分かれ、すべての高校が自主的に行動しています。高校生は、自分の学校が担当している活動に参加し、インターハイを支えます。

川越総合高校は、環境美化の一環である草花装飾の中心校。昨年は試験栽培を行い、7月28日(月)にさいたま市で行われる総合開会式に、開花がちょうど合うよう、種を植える時期を確認しました。こ

アの花いっぱいプランターを二百以上、用意しています。「四十七年に一回の県内開催なので、力が入ります」と開会式に飾る装飾を担当している山下哲さん（三年生）。プランターは、開会式終了後、市内の各会場に飾る予定です。

「剣道部に所属していてインターハイを目指していたので、とても身近に感じます。出場することはできませんが、記念品を作ることに参加できました」と話すのは、歓迎活動の中心校である川越女子高校の佐々木美保さん（二年生）。インターハイで選手などに配る、手作り記念品の「無事カエル」を作成しました。

県立川越高校は、エリアマップを作成。担当した藤本洋さん（二年生）は、「県外から来る選手の皆さんに、必要な情報は何かを考えながら作りました」と話していました。

高校生一人一役活動担当高校一覧

(高校を省略しています)

環境美化	草花装飾	川越総合・川越工業・川越女子
	美化活動	市立川越・川越初雁
広報活動	啓発活動	川越西
	ポスター制作	秀明・川越初雁
競技会場案内	総体ニュース	川越工業
	エリアマップ	県立川越
歓迎活動	手作り記念品	城北埼玉・星野・城西大川越
		川越女子・山村学園・東邦第二 川越西・県立川越・川越南 県立養護学校・市立養護学校・秀明 川越初雁・川越工業・川越東
記録活動	記録写真	川越南
	ビデオ撮影	川越南

*このほか、盲学校・霞ヶ関高校が独自の活動を予定しています。

市立川越高校は、美化活動の中心校。6月28日には他校の生徒と共に、清掃を行いました。同校の奈良瑞姫さん（三年生）は、「二年生の時から一人一役活動に参加していました。全国から集まる高校生が気持ちよく試合に臨めるように、市内をきれいにしたいと思います」と抱負を語りました。

ここで紹介ができたのは、高校生のごく一部の活動です。市内の各高校ではインターハイ終了まで、右表の活動を行います。インターハイ当日にも、会場内外のいたるところで選手以外の高校生が活躍しますので、応援をお願いします。

経験が大事！ 自主防災訓練

「震度7の地震が市内を襲い、各地では甚大な被害が発生しているもよう」という設定で、6月8日に市自治会連合会第3支会の自主防災訓練が、泉小学校で行われました。

400人以上が参加した同訓練。自警隊と消防団による放水訓練から始まり、避難・初期消火・天ぷら鍋消火などの訓練と炊き出しを行いました。「この防災訓練を通じて、防災の重要性を肌で感じ、各自治会内に自主防災会を置くことの必要性が理解できるのではないかと思います」と同支会長の秋庭敏男さん（72歳・野田町1丁目）は力強く話していました。



いざというときの対応ができるように、日ごろの訓練が大事です

盲学校で心のこもったコンサート



アンコールに応える、出演者の皆さん

視覚障害者の6人グループ「F」の皆さんのによる、視覚障害者のためのチャリティーコンサートが6月22日、盲学校で行われました。「コンサートを通じて、視覚障害者でもいろいろなことができることを理解してもらえれば、うれしいです」と出演者代表の奥富勇さん（22歳）。

ピアノ演奏・ギターを使つての弾き語りなどが行われました。このほか、コンサートの間には落語もあり、会場からは笑い声があがっていました。

自主防犯活動は地域防犯の要

コバトンのぬいぐるみをバトンにして、地域の自主防犯活動団体のパトロールを次々につなげていく、「わがまち防犯隊コバトンリレー in 小江戸川越」。6月23日に川越西高校周辺において、地域の自治会で防犯活動を行っている皆さんが参加して、鶴ヶ島市への引き継ぎキャンペーンが行われました。

同キャンペーンでは、同校の吹奏楽部による日ごろの防犯活動に対する感謝を込めた演奏の後、9コースに分かれ、一斉パトロールを行いました。「登下校の際などの防犯活動を始めてから、住民の皆さんがかかわるようになり、犯罪件数が減少しました。これからも気を引き締めて、防犯活動を行っていきます」と市自治会連合会霞ヶ関支会長・發知孝雄さん（59歳・笠幡）。



自治会の皆さんと川越西高校の生徒の皆さんがこのキャンペーンに参加しました



舟橋市長に優勝報告をした東洋大学野球部の皆さん

全日本大学野球選手権大会優勝

東洋大学硬式野球部は、東都大学野球春季リーグで優勝。昨年の春・秋、今回と3連覇を達成しました。その後、全国から各リーグを制した26大学が集う全日本大学野球選手権大会においても、22年ぶりの優勝を果たしました。6月26日には、舟橋功一川越市長へ「多くの市民の皆さんから応援をいただき、優勝することができました」と同部・高橋昭雄監督から優勝報告が行われました。